

景観63

シリーズ

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

「みんなで残したい松江の景観400選集」から
景観審議会が特にお薦めする景観

よもつひらさか 黄泉比良坂

No. 299

「黄泉の国（よみのくに）と現世との境界とされる黄泉比良坂。出雲神話で男神イザナギが、亡くなった女神イザナミを慕って黄泉の国を訪ねたその入り口。なんとなく霊気漂つ雰囲気があります」と推薦をいただきました。

神話によると、イザナギは、火の神を産み先立った妻イザナミを慕い黄泉の国へ行つたものの、そこで見たものは、黄泉の国の食べ物に口にし、変わり果てたイザナミの姿でした。恐れおののきこの世へ戻ろうとしますが、姿を見られたイザナミは黄泉の国の醜女にイザナギを追いかけるよう命令して捕まえようとしています。イザナギは何とか黄

たがそんなことをするなら、一日に千人の人間を殺す」と言うのに対して、イザナギは「一日に千五百の産屋を建てさせよう」と答えたことから、日本の人口は増えていったと伝えられています。「古事記」には、その黄泉比良坂が今の出雲国伊賦夜坂であったと記されており、東出雲町揖屋平賀地内には昭和15年に「神蹟黄泉比良坂伊賦夜坂伝説地」と刻まれた石碑が建立されました。

黄泉比良坂を訪れると、黄泉の国の入り口を前に神話世界の情景が自然と浮かびます。また現在は案内看板も整備され、県外観光客も訪れる観光スポットになっています。

泉の国とこの世との境である「黄泉比良坂」にたどり着き、千人力でやつと動く大きな岩「千引石」でその境界をふさぎました。その千引石を挟み、イザナミは「あな



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】 まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索